

## その香り困っている人もいます

柔軟剤などの香りで頭痛や吐き気がするという相談が消費生活センターに寄せられているのはご存知でしょうか？  
香りの感じ方には個人差があり、自分にとって快適な香りでも困っている人もいることをご理解いただき、香り付き製品の使用に当たっては周囲の方々にもご配慮ください。(消費者庁より)

### 化学物質過敏症

「柔軟剤などの香りで頭痛や吐き気がする」このような症状は、本態性多種化学物質過敏状態、いわゆる化学物質過敏症とも言われており、これまで国の機関でも様々な調査研究が行われていますが、病態や発症の仕組み等未解明な部分が多くあり、治療方法なども確立されていません。

### 症状例

頭痛、めまい、吐き気、かゆみ、下痢、動悸、倦怠感、疲労感など、人によって症状は様々です。また、上記以外の症状を発症する人もいます。

### 症状を誘発させるもの

柔軟剤、芳香剤、シャンプー、リンス、整髪剤などの日用品や、農薬、自動車等の排気ガス、殺虫剤等の香り  
(この他にも症状を誘発させる香りもあります)



## 『柔軟仕上げ剤』の使用量と、香りのマナーにご留意ください

(日本石鹼洗剤工業会)

2020年に行なった『洗濯実態調査』では、柔軟仕上げ剤を目安の2倍以上の量で使う人が2割近くもいました。その理由として、「洗たく物の量が普段より少ないのに、柔軟仕上げ剤はいつも通りの量を投入する」傾向があることがわかっています。柔軟仕上げ剤を適量で使うには、容器に表示された目安量にそって「計量」することが大切です。目安量は、洗たく物の量(重さ)に応じて決められています。洗たく物の量(重さ)を、毎回、正確に把握するのは難しいですが、たまに体重計などでチェックしてみると、見た目よりも重量が軽かった、といった目分量の偏りを発見できそうです。とくに秋から冬は、上着やダウンなどの「かさばるけれど、重量は軽い衣類」を洗う機会も増えてきます。洗たく物の重量が軽いときは、柔軟仕上げ剤の投入量も少なく調整してください。



日本石鹼洗剤工業会ホームページ → <https://jsda.org/w/index.html>

●衣料用柔軟仕上げ剤の品質表示自主基準 → [https://jsda.org/w/01\\_katud/a\\_sekken25.html](https://jsda.org/w/01_katud/a_sekken25.html)

●柔軟仕上げ剤の香りに関して → [https://jsda.org/w/01\\_katud/jyuunanzai\\_kaori.htm](https://jsda.org/w/01_katud/jyuunanzai_kaori.htm)



## 第48回とよなか市民健康展における賞味期限切れ製品の配布について (HP 掲載文)

令和5年10月8日(日)に開催されました第48回とよなか市民健康展における大阪府歯科衛生士会ブースにおいて配布しました冊子に同封されていたガムが賞味期限切れであったことが判明いたしました。製品の賞味期限を事前にチェックできず配布したことが原因で、お受け取りいただきました参加者はじめ関係者の皆様には多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。メーカーより通常のガムは経年劣化が少なく、本来は賞味期限・消費期限がないことより摂食による健康上の心配は不要であり、また、これまでも健康被害がなかったとの説明を受けております。なお、現在のところ体調不良などの健康被害の報告は受けておりませんが、配布されたガムがお手元にございましたら摂食なさらないようお願い申し上げます。この事態を厳粛にかつ重く受け止め、保健所の指導のもと今後の再発防止対応を徹底する所存です。